

キプロス島での伝道

2022年10月9日

使徒の働き 13章4～12節

序：シリアのアンティオキア教会

(ヘブライスト < ヘルニスト) ユダヤ人信者 < 異邦人信者
異邦人を対象とする世界宣教 (ローマ帝国全域)
聖霊がバルナバとサウロを選び、派遣
” なさる福音宣教の務めに召した
遣わされる者と送り出し支える教会
福音宣教は聖霊の主導 + 共働 (教会とともに働かれる)

第一回伝道旅行がここから始まる

I. 聖霊に遣わされて

- (1)バルナバとサウロを選び、主の召した務めに就かせた (教会に命じた)
cf, 執事：使徒たちの提案を教会が承認して、選出 6・1～6

バルナバ (キプロス出身) サウロ=パウロ (タルソ出身)
13・9以降

(2)教会の祈り

(3)聖霊の導き

- ①最初の派遣地 =キプロス島 (バルナバにとっては郷里)
アンティオキアの港セルキア ~ キプロス島
100 km 横

サラミス (東) ~ パポス (西)

②サラミスにて

商業の中心地

多くのユダヤ人が居住 : ユダヤ人の会堂がいくつもあった
まず、ユダヤ人に神のことはを宣べ伝えた
今後、この方針を継続

(4)ヨハネ=マルコが同行

12・25 エルサレムから連れてきた

13・5 マルコは二人の助手 (みことばに仕える、ふたりの記録係?)
見習い

13・13 マルコ脱落、エルサレムに帰ってしまう

II. 聖霊に満たされて

- (1)島の東から西に向かって、島全体を巡回

(2)首府パポス

ギリシャ神話の女神ヴィーナス崇拝

(3)ユダヤ人の魔術師 (名=バルイエス) エリマ

偽預言者 : 神の名を語って、いんちきな癒しを売りに生業
ローマから派遣された総督の側近 取り入って利益を得ていた

(4)地方総督セルギウス・パウルス

賢明なローマ人

バルナバとサウロを招き、神のことばを聴きたいと願った

(5)サウロ（パウロ）による奇跡（by 聖霊）

①魔術師エリマの妨害（総督が信仰を持たないように／二人に反対）

あらゆる偽りと悪事に満ちた者

悪魔の子 ↔ 救いの子（彼の名の意味）

すべての正義の敵

主のまっすぐな道を曲げ続けている（真理の神、正義の神への反抗）

②正体を看破したパウロ

霊を見分ける力（御霊の賜物の一つ） コリントⅠ 12・10

③神のさばき

盲目となり、日の光が見えなくなる

かすみ、闇

cf. サウロ自身の体験 9・8～9

人の助けを求めた

(6)総督の回心

この出来事・奇跡を目撃

主の教えに驚嘆

信仰に入った

Ⅲ. 結び・適用

(1)福音宣教は聖霊の主導、信仰者の従順により展開される
聖霊に遣わされる
満たされる

(2)いかなる人間の妨害、悪意、敵対があっても、前進する

(3)同労者を置かれる（バルナバとサウロ、彼らを祈りと支援で支える教会）
孤独な戦いではない

(4)霊を見分ける（真理の霊と偽りの霊） ヨハネⅠ 4・1～6

現代は、不正・巧妙・残酷・偽り・欺きに満ちている（原因：神を無視）

神の名を使って自分を肥やす VS 神のことばを慕い求める

魔術師（ユダヤ人）

総督（異邦人）

豚に真珠？

(5)失敗や挫折を恐れて何もしないことは、不信仰と怠惰に起因

聖霊に遣わされ（家庭、学校、職場、地域社会へ）

聖霊に満たされて動く時、主のご計画が成就・前進する

